

無料サンプル



バイオ試薬 トライアルキャンペーン



調製済みのためすぐに使えるバイオロジー研究用試薬
全10種類の中から、気になるサンプルを最大3種類まで無料でご提供します。
この機会に是非お試しください！

お申込み受付期間:2025/9/1(月)~2025/12/26(金)

対象試薬サンプル

電気泳動およびウェスタンブロッティング用試薬

Chemiluminescence HRP Substrate Solution Kit	(約メンブレン3枚分)	[製品コード: C4087]
Gel Negative Stain kit	(約ゲル3枚分)	[製品コード: G0615]
Silver Stain Kit	(約ゲル3枚分)	[製品コード: I1309]

タンパク質抽出/細胞分画用試薬

Mitochondrial Isolation Kit	(約3検体分)	[製品コード: M3527]
E.coli / Yeast Protein Extraction Buffer	(10 mL)	[製品コード: Y0021]

細胞増殖/細胞毒性アッセイ試薬

ATP-Luciferase Cell Viability Assay Solution	(1.0 mL)	[製品コード: A3495]
WST-8 Reagent	(0.2 mL)	[製品コード: W0023]

再生医学研究用試薬

A 83-01 [Optimized for Cell Culture]	(5 mg)	[製品コード: A3679]
CHIR 99021 [Optimized for Cell Culture]	(5 mg)	[製品コード: C4010]

標識ストレプトアビジン

Streptavidin HRP Conjugate	(0.01 mg)	[製品コード: S0972]
----------------------------	-----------	------------------------

● 応募方法

下記のURLあるいは二次元コードから応募フォームにアクセスし、必要事項を記入していただくと、応募完了となります。

<https://forms.office.com/r/sxRUUUvJrQ>



注意事項

- ※原則として、1グループ(研究室)で1回の応募に限らせていただきます。
- ※無料サンプルの数には限りがございます。応募完了時点で上限に達していた場合は、原則としてご提供できません。

ご提出いただいたお名前等の個人情報について、弊社では個人情報保護に関する法律を遵守し、下記記載目的のためにのみ利用させていただきます。

- ・お問合せ内容へのご回答および関連資料等の発送 ・弊社または弊社の関係会社からの各種資料の発送
- ・抽選キャンペーンや試薬新製品、サービスに関する各種お知らせ(メールマガジン配信等を含む)
- ・サービス向上に向けたヒアリング ・その他付帯するサービスの提供

弊社のプライバシーポリシーについては、<https://www.tcichemicals.com/JP/ja/privacy> もご参照ください。

Silver Stain Kit [I1309] の利用例

銀染色は、電気泳動後のポリアクリルアミドゲル中のタンパク質や DNA を高感度に検出する染色方法です。銀イオンがゲル中のタンパク質や DNA に結合し、還元されることで銀染色像が得られます。銀染色はクマシーブリリアントブルー（CBB）染色よりも高感度であり、数 ng のタンパク質を検出することができます。

特長

- 短時間でゲルの染色可能
- 高感度検出
- アンモニウムを含まず無臭
- 爆発性の銀アミドを生じないので安全

使用方法

1. 付属の溶液を 100 倍希釈し、固定液、染色液、現像液、停止液を調製する。
2. 固定液を入れたトレーに電気泳動後のゲルを入れ、10 分間振とうさせる。
3. 固定液を捨て、脱イオン水を加えて 10 分間振とうさせる。（3 回繰り返す）
4. 脱イオン水を捨て、染色液を加えて 5 分間振とうさせる。
5. 染色液を捨て、脱イオン水を加えて 30 秒間振とうさせる。
6. 脱イオン水を捨て、現像液を加えて 30 秒間振とうさせる。
7. 現像液を捨て、新たな現像液を加えて適切な染色像が得られるまで振とうさせる。（5 ～ 10 分程度）
8. 現像液を捨て、停止液を加えて 10 分間振とうさせる。
9. 停止液を捨て、脱イオン水を加えて 5 分間振とうさせる。（3 回繰り返す）

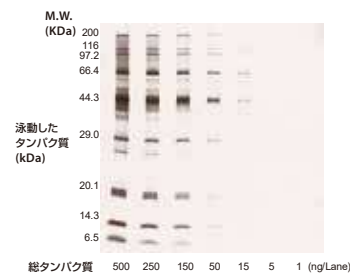


図1. タンパク質を泳動し上記方法で染色したゲル写真

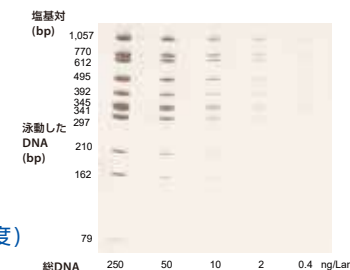


図2. DNAを泳動し上記方法で染色したゲル写真

Mitochondrial Isolation Kit [M3527] の利用例

Mitochondrial Isolation Kit [M3527] は、培養した哺乳類細胞や組織から簡単にミトコンドリアを単離するための試薬キットです。

単離したミトコンドリアはウェスタンブロットなどの解析に利用可能です。

使用方法

1. 遠心分離により細胞を回収し、ペレットを傷つけないように上清を除去する。接着細胞はセルスクレイパーを用いて剥離する。
2. Mitochondrial Isolation Reagent A に細胞を懸濁し、ボルテックスで混合する。 1×10^7 細胞あたり Reagent A を 400 μ L 加える。
3. 氷上で 2 分間静置する。
4. 懸濁液に Mitochondrial Isolation Reagent B を加え、5 秒間ボルテックスで混合する。懸濁液 400 μ L あたり Reagent B を 5 μ L 加える。
5. 氷上で 5 分間静置する。1 分おきにボルテックスで混合する。
6. Mitochondrial Isolation Reagent C を加え、数回の転倒混合をする（ボルテックス厳禁）。手順 2 で使用した Reagent A と同量の Reagent C を使用する。
7. 700 x g, 4°C で 10 分間遠心分離する。
8. 上清を新しいチューブに移し、12,000 x g, 4°C で 15 分間遠心分離する。
9. 上清（サイトゾル画分）を回収し、ペレットに Reagent C を 300 μ L 加える。
10. 12,000 x g, 4°C で 5 分間遠心分離し、上清を除去する。
11. ミトコンドリア（ペレット）を下流の実験に用いる。

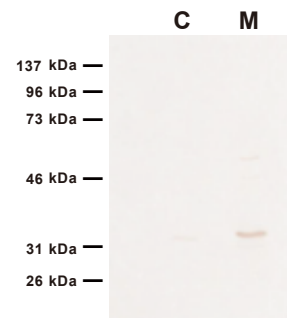


図3. M3527を用いて単離したサイトゾル画分(C)とミトコンドリア(M)のウェスタンブロット例。ミトコンドリアからはRIPA Bufferを用いてタンパク質を抽出し、VDAC1/2抗体を用いて検出。マウス由来細胞から高度に濃縮されたミトコンドリアを単離可能。

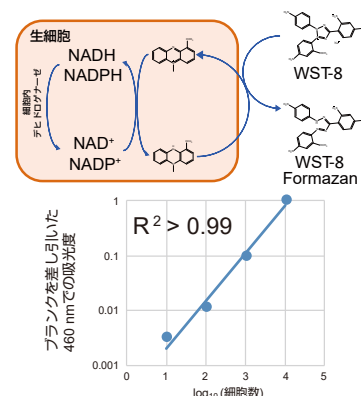
WST-8 Reagent [W0023] の利用例

W0023 は細胞の相対数を測定可能な調製済み試薬です。右図の電子伝達系により、生細胞の存在下で WST-8 が還元され着色し、460 nm の吸光度を測定することで細胞数を測定することができます。

細胞周期を通して NADH や NADPH の濃度が大きく変動しないうえ、その濃度が WST-8 の吸光度増加と相関関係にあることから、細胞の相対数測定に非常に有用な測定系とされています。

使用方法

1. 96 ウェルプレートで細胞を 100 μ L ずつ播く。
2. 相対的増殖度を測定したいタイミングで W0023 を 10 μ L 添加する。
3. 色の変化が見られるまで 1 ～ 4 時間、通常の培養条件で静置する。
4. 460 nm の吸光度を測定する。



東京化成工業株式会社

■本社営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-12 T-PLUS日本橋小伝馬町8階
Tel: 03-3668-0489 Fax: 03-3668-0520 E-mail: Sales-JP@TCIchemicals.com
■大阪営業部 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜1-1-21 第2中井ビル1階
Tel: 06-6228-1155 Fax: 06-6228-1158 E-mail: osaka-s@TCIchemicals.com